

小山内総合法務事務所

Tel:042-773-3823

Mail:osanai.kazue8@gmail.com

ホームページ:

<http://osanai-houmu.com/>



<提供サービス>

- ・遺言書
- ・遺産分割協議書
- ・相続手続き
- ・生前贈与
- ・事業承継
- ・許認可申請
- ・補助金申請
- ・ファイナンシャルプランニング 他

この会報は、お世話になった方々やセミナー参加者にお届けしています。お届け先様からのご相談は初回無料で承っています。



今回のテーマは「コンプライアンスとガバナンス」です。

今年1月、フジテレビに関するニュースが世の中を大きく騒がせ、取締役の長時間にわたる記者会見の様子が放映されていました。

その中でコンプライアンスとガバナンスという言葉が数多く聞かれました。会社の経営に携わっている方でもこの2つの言葉の意味を正しく理解している方は多くないかも知れません。

コンプライアンスは法令順守のことを言います。会社で法令順守というと、業種によって法令違反リスクのポイントは多岐にわたります。しかし、コンプライアンス徹底のための仕組み作りは共通です。それは4つあります。つまり、①社内規定の制定、②規定遵守のためのシステム構築、③遵守状況の確認、④違反リスクが感知された場合の対策です。この4つについて常時PDCAサイクルを回して、違反リスクを無くしていくことが企業のコンプライアンス活動です。

一例として、資材調達部門担当者が調達先と不当に密接な関係になることによって調達不正が発生するリスクを無くそうとする場合を例に挙げます。調達不正とは、高く発注してキックバックを取ったり、本来他社の方が安くて良質な調達材の供給をしてくれるのに敢えて密接な関係になっている会社からの調達を続け、結果として品質の良くないものを高く買い、会社に損害を与えるというリスクがあります。これを防止するために、①適正調達活動の規定を制定し、例えば調達先と会食やゴルフをする場合には先方から接待は受けてはならないというルールを定めます。②このルールを徹底するために、調達先との会食等をする際には事前に上司や関係部署の承認を得るための決裁システムを作ります。③さらにこの仕組みが正しく運営されているか定期的に確認します。④万一正しく運営されていないことが発見された場合には、担当者に再教育をするとか、再発した場合には懲戒処分をするなどの対応をします。

次に、ガバナンスとはどういうことでしょうか。ガバナンスは企業統治と訳されます。これは政府が国の統治を行っていることと基本的に同じです。

毎年の事業計画を取締役会で承認し、各取締役が自部門の役割を果たし、事業計画を実行します。取締役は相互に業務の状況を監督し、経営会議等で常時その達成状況を確認し、未達があればその要因を明らかにして対策を打ちます。これらの仕組みが正しく運営されているかを取締役や監査役が監視し、株主総会に報告します。経営陣に問題があると判断した場合には、株主総会において取締役は再任を拒否され刷新されます。こうして企業は、経営上の不正やミスを防止し、長期的な成長を実現し社会に永続できます。

経営陣は、顧客、取引先、従業員、そして株主といったステークホルダーのために透明性を確保しながら、会社の成長を期し、社会の役に立つ企業経営を行い、会社の存在意義を示します。このように企業経営全般に目を光らせ、問題があればその要因を詳らかにし、適切な対策を打つというサイクルを適切に回すことがガバナンスです。

取締役が個人ですべてを行うことには限界がありますので、経理部門、人事部門、法務部門など必要な専門部署を設置して会社全体に目を光らせ課題を早期に発見させ報告させることが必要です。企業ガバナンスがしっかりしているか否かは投資家の投資判断に大きな影響を与えます。また、顧客や取引先からの信頼を得るための要件にもなります。

フジテレビの問題ではこのガバナンスが適切に効いていなかったと取締役が反省の弁を述べていました。会社の所有者は、永年取締役を続けてきた自分たちではなく、株主であるという基本を想起しなければならない事案でした。